

「清喉」鶴画讃 青々斎筆



藪内流13代青々斎宗匠筆の鶴画讃で「清喉（せいれい）」となっております。清喉は鶴の澄んだ鳴き声のことを指します。

桐箱 高さ約116cm 幅約48cm
¥20,000(税込)

売約済.

雪囲い画讃 日野資枝賛 酒井抱一画



江戸時代中期の歌人、公卿であった日野資枝筆雪の歌で同時期の江戸琳派の絵師であった酒井抱一筆の雪囲いの絵が添えられています。「ともをこそ待つべかりけれ庭の雪見捨てていかれ誰をとわまし」と詠われています。

桐箱 高さ約102cm 幅約55cm ¥68,000(税込)

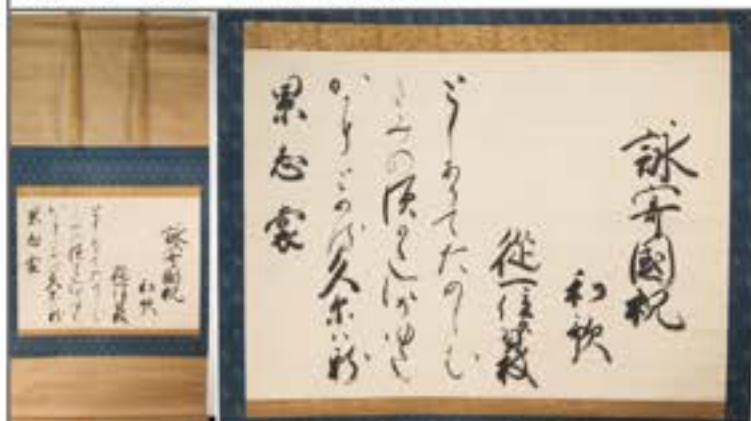
立雛画 休々斎筆



藪内流10代休々斎宗匠筆の立雛画になります。休々斎宗匠は幕末明治の京都の画壇であった森寛斎を絵の師に持ち洒脱な絵を多く残しています。

紙箱 高さ約176cm 幅約44cm
¥70,000(税込)

詠寄国祝 日野資枝筆



江戸時代中期の歌人、公卿であった日野資枝筆国祝いの歌になります。「としありて楽しむ民の姿にぞ豊かに富める国は著（しる）しも」とあり新年を全ての人が楽しみにしている豊かな国を祈り歌っています。

桐箱 高さ約127cm 幅約68cm ¥55,000(税込)

「無事」一行 透月斎筆



藪内流11代透月斎宗匠筆の筆の一行で「無事」となっております。年末にかけるのに適した一行で大変力強い書になります。

紙箱 高さ約167cm 幅約68cm
¥100,000(税込)

立雛画 狩野永信筆 円能斎箱



明治期の狩野派の絵師であった狩野永信筆の立雛画になります。裏千家14代円能斎宗匠の箱。

共箱 高さ約119cm 幅約62cm
¥35,000(税込)

「西王母」桃画讃 猗々斎筆



藪内流12代猗々斎宗匠筆の桃画讃で「西王母」となっております。西王母は、中国で古くから信仰された女仙、女神のことです。

桐箱 高さ約114cm 幅約60cm
¥25,000(税込)

売約済.

売約済.



青楽宝珠香合 和楽作 青々斎箱



楽焼の陶工である川崎和楽作の青楽宝珠香合で藪内流13代青々斎宗匠の箱になっております。吉祥の意匠であるので様々な場所でお使いいただけますが特に令和7年では巳年ということで重ねて使いやすい年になります。

共箱 直径約6cm 高さ約6cm
¥20,000(税込)



宝槌香合 永楽妙全作 休々斎箱



14代永楽善五郎妙全作の宝槌香合で藪内流10代休々斎宗匠の箱となっております。交趾の香合で大黒様の持ち物でもあり、宝尽くしの意匠の一つでもあります。

共箱 縦約7cm 横約4.5cm
¥50,000(税込)



肩面に瓢画織部扇面香合 作助造



瀬戸の陶工である加藤作助造の織部扇面香合で藪内流11代透月斎宗匠の箱となっております。鉄絵で瓢箪の図が描かれており、瓢箪は日本書紀の中で瓢箪が身代わりとなり命を助けられた伝説に由来し、災難から身を守ってくれる縁起物とされています。

共箱 縦約4.5cm 横約6cm 高さ約2.5cm
¥45,000(税込)



染付雪花香合 永楽妙全作 透月斎箱



14代永楽善五郎妙全作の染付雪花八角香合で藪内流11代透月斎宗匠の箱となっております。雪花文様は雪の結晶にみだられた文様で古く原型は平安時代から使われていました。

共箱 縦約7cm 横約7cm 高さ約3.5cm
¥100,000(税込)



松竹梅末広香合 永楽妙全作 透月斎箱



松竹梅絵の末広香合で藪内流11代透月斎宗匠の箱となっております。繊細な絵付けで14代永楽善五郎妙全の作となっております。休々斎、透月斎の両宗匠時代は永楽家とつながりが強く多くの道具を作られています。

共箱 縦約6.5cm 横約9cm 高さ約2cm
¥85,000(税込)



休々斎手造寿老香合 透月斎箱



藪内流10代休々斎宗匠(謙吉)自作の寿老香合で藪内流11代の透月斎宗匠の箱となっております。可愛らしい寿老人の香合になります。十五の内とあり。

共箱 直径約4cm 高さ約6cm
¥100,000(税込)



巳年香合各種

巳年の香合になります。巳成金香合と琵琶香合になります。巳成金(みなるかね)は弁才天の化身である宇賀神という福の神が巳の形をしていることに由来しています。

巳成金筒々斎: 共箱 縦約5cm 横約4cm 高さ約2.5cm
¥20,000(税込)
巳成金青々斎: 紙箱 縦約5.5cm 横約4cm 高さ約2.5cm
琵琶白青々斎: 紙箱 縦約5cm 横約10cm 高さ約3.5cm
琵琶黄青々斎: 紙箱 縦約4cm 横約8.5cm 高さ約3cm
紙箱各種¥10,000(税込)



九谷分銅形香合

九谷焼の分銅形香合になります。こちらのような緑を基調とした九谷の多くは吉田屋という九谷焼の手を習いにしており、赤を使わず青(緑)・黄・紫・紺青の四彩を使うのが特徴です。

桐箱 縦約5cm 横約7cm 高さ約2.5cm
¥25,000(税込)



瓦紋赤楽香合 猗々斎箱

楽焼の瓦紋香合で藪内流12代猗々斎宗匠の箱となっております。丸型のこの形状は横から見た形から一文字香合とも呼ばれます。瓦紋は軒瓦の意匠を用いた香合でこちらは菊のようです。

共箱 直径約6.5cm 高さ約2cm
¥20,000(税込)



青磁鴨香合 透月斎箱

青磁の鴨香合で藪内流11代透月斎宗匠の箱となっております。鴨は冬鳥に類し真冬から3月頃まで日本におり、季語としても冬になります。酔花窯の作。

共箱 縦約6.5cm 横約4cm 高さ約5cm
¥40,000(税込)



染付角田川香合

染付の墨田川香合になります。形物香合の一種で蓋の甲に対角を結んで川に架かる橋を表わしたハジキが付きこれを境に上部に枝重柳、下部に川面を行く船人物を描いたものです。

時代箱 縦約7.5cm 横約7.5cm 高さ約5.5cm
¥58,000(税込)



捻梅香合 透月斎自作

藪内流11代透月斎宗匠自作の捻梅香合になっております。香合底には「貳拾五の内竹操造」と彫られています。透月斎宗匠は自作の陶芸も多く、焼きも朝日や楽など様々です。

共箱 縦約7.5cm 横約7.5cm 高さ約3cm
¥100,000(税込)

売約済.



山里棚 猗々斎在判



藪内流家伝の形の山里棚で藪内流12代猗々斎宗匠の直判になっております。大阪城の山里丸にあったといわれる水屋棚で利休の前で藪内剣仲がその棚を用いて点前を行い、それが素晴らしかったため利休から剣仲に贈られた棚です。砂刷り板であることと、胡麻竹の縁張りが約束です。

紙箱 縦約32cm 横約36cm 高さ約37cm
¥60,000(税込)



小及台 橋口宗栄作 青々斎箱



藪内流好みの小及台で藪内流の塗師である橋口宗栄の作となっております。小及台は及台子を小さくしたもので及台とは中国の科学(官吏の登用試験)に合格することで、通ることのできる「及第門」に似ているためといわれています。

共箱 縦約26cm 横33cm 高さ約35.5cm
¥88,000(税込)

売約済.

松竹梅蓋置 犬山本窯



犬山本窯の万古焼松竹梅蓋置になります。お祝いの席や初釜などにお使いいただけます。

共箱 直径約5.2cm 高さ約5.2cm
¥12,000(税込)

三鈴蓋置 9代大樋長左衛門作



9代大樋長左衛門作の三鈴蓋置になります。鈴には邪を払うという祈りが込められており、もともと禅宗で使われていた梵音具であったと言われております。この蓋置も音が鳴ります。

共箱 直径約6cm 高さ約4.5cm
¥25,000(税込)

色絵三つ人形蓋置



時代の色絵三つ人形蓋置になります。少し傾けているような姿であったりと可愛らしい蓋置です。

木箱 直径約6cm 高さ約4.5cm
¥30,000(税込)

売約済.

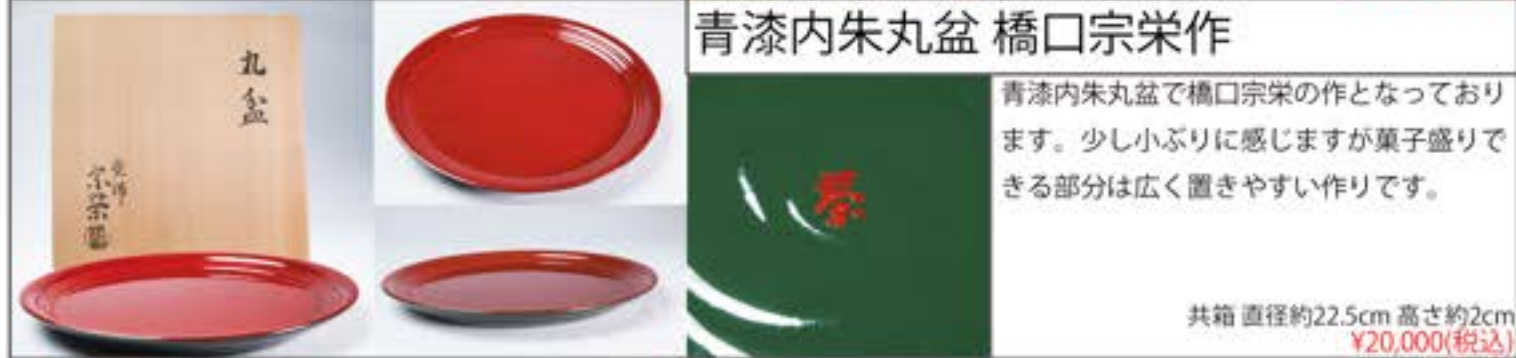
青楽つくね蓋置 楽弘入作



楽家12代弘入作の青楽つくね蓋置になります。つくねとは手捏(てづくね)の略称で弘入の指の跡がうかがえるかのような蓋置です。

共箱 直径約5.5cm 高さ約5.5cm
¥35,000(税込)

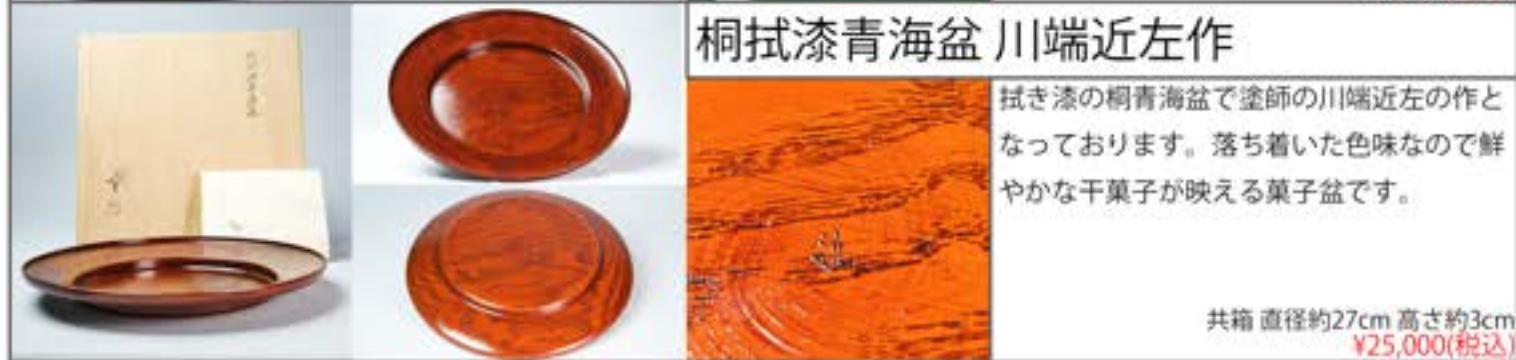
売約済.



青漆内朱丸盆 橋口宗栄作

青漆内朱丸盆で橋口宗栄の作となっております。少し小ぶりに感じますが菓子盛りできる部分は広く置きやすい作りです。

共箱 直径約22.5cm 高さ約2cm
¥20,000(税込)



桐拭漆青海盆 川端近左作

拭き漆の桐青海盆で塗師の川端近左の作となっております。落ち着いた色味なので鮮やかな干菓子が映える菓子盆です。

共箱 直径約27cm 高さ約3cm
¥25,000(税込)

売約済.



独楽菓子器 藪内節庵箱

独楽塗りの噴籠で藪内節庵の箱となっております。大阪の漆器製造所松栄堂製の菓子器です。

共箱 直径約22cm 高さ約12cm
¥40,000(税込)

休々斎好菱盆 橋口宗栄作 随竹庵箱



藪内流10代休々斎宗匠好みの青漆内朱の菱盆で藪内流の塗師である橋口宗栄の作となっております。藪内流分家福田随竹庵の箱。

共箱 縦約24.5cm 横約31cm 高さ約3cm
¥25,000(税込)

売約済.



仁清写鶴酒瓶 永楽即全作

仁清写しの鶴酒瓶で16代永楽善五郎即全の作となっております。頭からお酒を入れくちばしから注ぐことのできる酒器です。頭部の赤い部分は朱塗りです。

共箱 直径約8cm 高さ約21cm
¥80,000(税込)



大谷尊由自作 一葉白向付 6客

西本願寺21世光尊(明如上人)の四男で西本願寺の僧侶であった大谷尊由自作の一葉白向付6客になります。大谷尊由は藪内流11代透月斎宗匠を師事していました。

共箱 縦約10.5cm 横約18.5cm 高さ約4.5cm
¥65,000(税込)



長寛写桐竹の椀 神戸雪汀作 10客

大阪の吹田にあり燕庵の写しもある西尾積翠庵の執事であった神戸雪汀作の長寛写し桐竹の椀10客になります。長寛とは江戸後期の名漆工であった佐野長寛のことで独特な名品を多く残しました。

共箱 直径約12cm 高さ約10.5cm ¥80,000(税込)



唐銅鉄鉢形建水 一ノ瀬宗辰作

高岡の鋳物師である一ノ瀬宗辰作の鉄鉢形の唐銅建水になります。

共箱 直径約12cm 高さ約6.5cm
¥35,000(税込)

売約済.



砂張釣船花入 一ノ瀬宗辰作



高岡の鋳物師である一ノ瀬宗辰作の砂張釣船花入れになります。砂張は室町時代末期から桃山時代にかけて渡来し始めた金属器の総称で、銅を主体に錫を加え、銀、鉛を少量含んだ合金です。釣船は、本来は東南アジアで神への供物を入れる器として用いられていたもののように茶人の見立てから始まっています。
共箱 縦約10cm 横約22cm
高さ約15cm 鎖長さ約128cm ¥85,000(税込)



唐物写巾着籠花入 和田鱗司作



唐物写しの巾着籠花入れで竹工芸士の和田鱗司作となっております。緻密な竹工芸で光沢も美しい良作の籠花入れになります。
共箱 縦約16.5cm 横約16.5cm 高さ約36cm
¥80,000(税込)



山形籠 尚篁作



竹工芸士の早川尚古斎、尚篁作の山形籠になります。民芸の素朴さも確りと備えた置き籠花入れになります。
共箱 縦約13cm 横約20cm 高さ約24cm
¥30,000(税込)



砂張鶴首花入 村田耕閑作



古くは越内流の鋳物師であった村田耕閑作の砂張鶴首花入れになります。耕閑は明治から昭和にかけて京都で金物師として活躍し燕庵伝来品の写しや大正、昭和の御大典にて高御座の金具の制作を命ぜられるほどの名工で、昭和三十年頃には廃絶してしまいました。
共箱 直径約9cm 高さ約25cm 口径約4.5cm
¥85,000(税込)



竹猗作廣口花入 銘「不群」



越内流8代真々斎竹猗宗匠作の広口花入れで銘が「不群(むれず)」となっております。孔子の「論語」の中で「君子は矜(きょう)なれども争わず、群して党せず」とし君子は誇りをもった態度をとることはあっても人と争うことはなく、多くの人々とともに過ごすことはあっても党派をつくることはないと言われています。雪割れの花入れです。
共箱 直径約10cm 高さ約4.2cm ¥180,000(税込)



松の木煙草盆 織部火入れ キンマ煙草入



松の木行李蓋煙草盆、織部菱火入れで松本鉄山作、緋匂(ヒルマ)製の蒔罫(きんま)煙草入れになります。
煙草盆：箱無 縦22cm 横約30.5cm 高さ約4cm
¥25,000(税込)
火入れ：共箱 縦約8.5cm 横約30.5cm 高さ約10cm
¥20,000(税込)
煙草入れ：共箱 直径約5.5cm 高さ約6.5cm
¥30,000(税込)

売約済.

売約済.



露山焼灰器

露山焼の内袖掛け灰器になります。露山焼は西本願寺法主第十九世本如上人の御庭焼で本如上人の命で清閑寺の裏山采嶺溪に仁阿弥道八が文政七年に開窯したと言われています。のちに慶入も訪れて作品を残しており作が様々になります。

箱無 直径約21cm 高さ約7.5cm
¥50,000(税込)